

特集「東京とオリンピック・パラリンピック」

特集にあたって

オリンピックスポーツ文化研究編集委員会

『オリンピックスポーツ文化研究』では、これまでオリンピックに関わる様々な現象についての論考が精力的に発表されてきました。編集委員会では、今号で5号を数えること、また2020年は第32回夏季オリンピック競技大会および東京2020パラリンピック競技大会（以下、2020東京オリパラ大会）が開催される（はずだった）ことから、初めて特集を企画することにしました。

特集テーマは「東京とオリンピック・パラリンピック」です。

これまで東京は1940、1960、1964、2016、2020と5度にわたってオリンピック・パラリンピックとの関わりを持ってきました。そしてオリンピックの招致、中止、開催、さらには延期と近代オリンピック史上において稀有な経験を有しています。本特集では、これまで／これからの、東京とオリンピック・パラリンピックの関わりをテーマとして、学内学外の研究者に原稿を依頼し執筆いただきました。執筆いただいた先生方に感謝申し上げます。残念ながらパラリンピックに関する論考を掲載することができなかったのは企画者の力不足によるものです。

周知の通り、2020年に入り世界中に広まりだした新型コロナウイルス感染症の影響はスポーツ界にも押し寄せ、日本では3月24日夜、安倍晋三首相によって2020東京オリパラ大会の延期が発表されました。現在東京オリンピックは2021年7月23日～8月8日、東京パラリンピックは2021年8月24日～9月5日に開催を予定しています。2020東京オリパラ大会は延期となりましたが、与えられた1年の猶予が、いま一度東京におけるオリンピックとパラリンピックについて考える時間となり、本特集がその一助となれば幸甚です。